

「お願い！地雷をとらないで！」から

『地雷原をグリーンベルトに』

2004年3月、

附属大泉中学校で、「お願い！地雷をとらないで！」
という名の公開授業が開催された。



⇒カンボジアで地雷除去にあたっていた 日本人NGO
ボランティアに「お願い！地雷をとらないで！！」と
現地カンボジアの人々が訴えたという。

⇒ 私は、なぜ...？ そんなバカなことがあるかと思った。

東京学芸大学附属国際中等教育学校

古 家 正 暢

カンボジア内戦の爪痕

*1975～'79 ポル・ポト政権
負の遺産:キリングフィールド



今も人骨が散乱している



頭蓋骨が並べられている



Mass Grave of 166 Victims Without Heads

「百聞は一見にしかず」

自分の眼で確かめてみよう！と思った。

2005年08月



カンボジア・バンティエンミンチェイ州マライ郡
オーソンボー地区地雷原M4633地域

地雷原に立つ



CMAC - Cambodian Mine Action Centre
(カンボジア地雷行動センター) の
地雷除去員とともに・・・

地雷原をグリーンベルトに

2005.08



マライ郡バンベイン地区での植樹事業
R地区長はじめ地元農民と共に行う

とはいえ、先立つものは「支援金」
何とか支援金を援助できないものか...?



カンボジア

2007.09

復興支援コンサート



教え子の
田中拓未



国際交流基金の支援を受け、現地:カンボジアよりゲストを迎える

Think Globally Act Locally. To Cambodia from Adachi. Think Globally Act Locally. To Cambodia from Adachi.

カンボジアから地雷被害者を招聘 (2007 国際交流基金 市民青少年交流助成)

カンボジア復興支援コンサート

—地雷原をグリーンベルトに—



「カンボジアの子どもたちのほじける笑顔」

日時 2007 年 9 月 8 日 (土)

開演 午後 6 時 30 分 (開場 午後 6 時)

場所 ギャラクシティ (西新井文化ホール)
東武伊勢崎線 西新井駅下車 徒歩 3 分

入場無料 <全席自由席>

会場内にチャリティーボックスを用意させていただきます。
カンボジアの復興支援にご協力をお願いいたします。

プログラム

[1] Breakin'

足立区立南井中学校ダンス部
岡野竜介とその仲間たち

[2] 地雷被害者との交流

カンボジア・マライ郡から招聘した
地雷被害者との交流

[3] ピアノ名曲集

『エリーゼのために』から知られざる名曲まで
Pianist: 田中 拓未

『地雷原をグリーンベルトに』

「アジアの地雷・不発弾被害を伝える会」では、カンボジア・バンティミンチェイ州マライ郡の復興支援に尽力しています。代表の奥田英朗は現地住民に農業を指導し、かつての地雷原を緑の大地へと生まれ変わらせつつあります。

現在、アスパラガスやナスをアンコールワットのあるシェムリアップの日系レストランに納入するまでに成長させました。また、植林事業や英語塾を開設するなどして、子どもたちの未来をひらく努力を継続しています。



田中 拓未

1975 年 東京都足立区生まれ
1998 年 武蔵野音楽大学卒業
ドイツ フライブルグ州立音楽
大学に留学。ドイツ国内各地で
ソロ及び室内楽で演奏会を提供
2007 年 1 月 帰国。

(足立区立花畑北中学校卒業生)
<http://www.takumi-tanaka.com/>



司会 鎌倉恵理子

(足立区立花畑北中学校卒業生)

主催: アジアの地雷・不発弾被害を伝える会 <http://amurmekong.org/>

カンボジア復興支援コンサート実行委員会 実行委員長: 古家正晴

後援: 国際交流基金 足立区教育委員会 足立よみうり新聞 足立朝日
地雷廃絶日本キャンペーン (JCBL)

実況中継ブログ 「カンボジア復興支援コンサートへの道」 <http://blog.goo.ne.jp/vsgeetm/>

入場者: 220 名
寄付金総額 27 万 6 千 715 円

カンボジア再訪 2009年8月



歓迎の宴：カンボジア復興支援コンサートで
来日したバンベイン地区長Rさんはじめ、地
元のみなさんの歓待を受ける。



W君も立派に成長していた



地雷原がグリーンベルトに・・・？



2005. 08.

4年の月日が景観を一変させた
後方の山の稜線から同じ場所であることが
読み取れる。



2009. 08.

4年前に植樹したアカシアの一種が大きく成長。
なお、畑の緑はバイオエタノール用のキャッサバ栽培

植樹事業の成功・失敗の差は・・・



道路の両側に土留めとして、3メートルおきに植樹したのであるが、左の地区は成功例。4年の歳月が並木道をつくりだす。しかし... 右の地区は片側ほぼ全滅。この違いは...？



両方の地区共に2005年8月植樹
2009年8月撮影

かつての地雷原に建設されたカジノホテル

カンボジアなのに、タイバーツしか通用しない
タイ国境の町：ポイペトのカジノホテル



地雷原の地雷除去が進み、
有益な土地となると、政府首脳等
有力者が農民から土地を買い取り、
カジノホテル等を建設する。

土地を売ってしまった農民は
今後、農奴のように働かなければ
ならない。

6年前の「お願い！地雷をとらないで」という声を聞いた気がした。

しかし... それでも... どんなことがあろうとも... 地雷は除去すべきだ！！

旧ポル・ポト派幹部(元・国連大使) 現マライ郡長

T・K氏へのインタビュー

2005年



点滴を受けながらインタビューに応じるT郡長

* 右後方の女性は、ポル・ポトの元妻:M・Sさん。

2009年



今、カンボジアに求められているのは
「教育」と「経営力」とであると熱く語られた。

「人道に対する罪」を裁くポル・ポト裁判が始まっている。
「カンボジア内戦」を裁くことの難しさを、T氏とのインタビューで改めて感じた。
旧ポル・ポト派幹部ということで、農民の信任厚いT氏をも裁くべきなのか…？